
毒蛇の罪

YukI*

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

毒蛇の罪

【著者名】

Yuki*

N6868F

【あらすじ】

貴方の隣、毒蛇がいませんか？それとも、貴方が毒蛇ですか？

自分が毒を持っていることを知らない毒蛇がいた。

毒蛇は兎が好きだった。白くてふわふわ、丸々とした可愛らしさ。一度話しかけてみたいと思つていたけれど、兎は毒蛇の姿を見て逃げていく。

毒蛇は静かに俯く。……自分が毒を持っていて、兎にとって危険でしかなことを知らなかつたから。

でも一匹だけ、毒蛇と仲良くしてくれた兎がいた。兎は毒蛇の外見を、その毒を、全く恐れなかつた。孤独な毒蛇の話を聞き、滑稽な話で笑わせ、……唯一無一の友達になつた。

毒蛇はこの兎が大好きだった。

逢える時は、嬉しさに体を躍らせた。

逆に逢えない時は、寂しさに土を噛み締めた。

ある時、毒蛇は兎と喧嘩した。

原因は簡単。兎が、毒蛇との約束よりも、同じ兎達との約束を優先させたから。

兎の立場から考えれば、それは当たり前のこと。

群れで暮らす仲間との関係を悪くすれば、暮らしにくくなる。命にも関わるかもしれない。

でも、毒蛇は？…たつた一匹、決して自分に害を及ぼさようとしない。

それは感情論ではなくて、損得勘定。

毒蛇は怒った。

自分にとつて、これ以上大切なモノがないくらい大切な兎が、自分を蔑ろないがしにしたから。

そして怒りのあまり　兎の足に、噛み付いた。

毒蛇にとつて、それはちょっとした仕返しだった。本当にちょっとした、じゃれあいと大差ない力量。でも毒蛇は、毒蛇だった。

兎は自分の身に回る毒を、毒蛇に隠し続けた。足の傷が、膿んで腫れる。食欲がなく痩せて、一歩歩くのさえやつとの状態。

それでも兎は、毒蛇のもとを訪ね、明るく話し続けた。

毒蛇が怒り、噛み付いたのは、自分が悪いから。

そして何より、兎にとつて毒蛇は、大切な友達のひとりだったから。

毒蛇が気づいたのは、目の前で兎が倒れ、痙攣し、動かなくなつてから。

そして自分のつけた傷が、膿み、青く腫れ上がっているのを見た時。

そうしてやつと、毒蛇は自分が毒蛇であることに気づいた。

嘆いても、もう遅い。

兎はもう動かない。時間は巻き戻らない。

あとに残されたのは、毒を持つ穢れた我が身だけ

。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6868f/>

毒蛇の罪

2011年1月5日14時36分発行